

デジタルワイヤレス補聴援助システム □ジャー (Roger)

ワイヤレスマイクロホン(送信機)

Roger Select

□ジャー セレクト

取扱説明書



roger

A Sonova brand

PHONAK
life is on

はじめに

このたびはフォナックのデジタルワイヤレス補聴援助システム ロジャー (Roger) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ロジャー セレクト (Roger Select) (以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します) は、話し手の声を拾い無線で直接耳元に送信するワイヤレスマイクロホン (送信機) です。例えば、レストランなどのテーブルの中央に置いたり、離れた位置にいる話し手が装着して使用できます。

ご利用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。本書にご不明な点がございましたら、本書裏面の「お客様相談窓口」までお問い合わせください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ




| | |
|-----------------------------|----|
| はじめに..... | 2 |
| 安全上のご注意（必ずお守りください）..... | 4 |
| 付属品..... | 8 |
| 各部の名称..... | 9 |
| 本体..... | 9 |
| インジケータ..... | 10 |
| 基本スペック..... | 12 |
| 使用する前の準備..... | 13 |
| 補聴器／人工内耳の準備..... | 13 |
| ロジャー受信機の準備..... | 13 |
| 本製品を充電する..... | 14 |
| 電源を入れる..... | 15 |
| 電源を切る..... | 16 |
| 機器を接続する..... | 16 |
| 機器の接続を解除する..... | 17 |
| 基本的な使い方..... | 18 |
| テーブルで複数の人と会話するときに使用する..... | 18 |
| 離れた話し手の声を聞き取る..... | 20 |
| 便利な機能..... | 24 |
| テレビまたはその他のオーディオ装置の音を聞く..... | 24 |
| ポータブルオーディオ装置の音を聞く..... | 25 |
| 無線機能を使って電話をかける..... | 26 |
| その他のBluetoothの操作..... | 29 |
| その他の機能..... | 30 |
| ミュート（消音）..... | 30 |
| 本体をリセットする..... | 30 |
| トラブルシューティング..... | 31 |
| 保証期間とアフターサービス..... | 34 |

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
|  危険 | この表示は取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
|  警告 | この表示は取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
|  注意 | この表示は取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。 |

■ 本体、充電電池の取り扱いについて

危険

- 弊社が指定した充電電池を必ず使用してください。指定以外の充電電池を使用した場合、本体や充電電池、その他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
- 分解、改造をしないでください。感電、火災、故障、けがなどの原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所や取り扱いに注意してください。
- 火のそばや直射日光の強いところ、炎天下の車内など高温の場所で使用したり放置したりしないでください。機器の変形、故障、充電電池の漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。

警告

- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。充電電池の漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 使用中や充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など今までと異なる症状がある際には、直ちに以下の作業を行ってください。そのまま使用すると発熱、破裂、発火または充電電池の漏液の原因となります。
 - ① 電源プラグをコンセントから抜く。
 - ② 本体の電源を切る。
- 航空機内など電子機器の使用を禁止された区域では本体の電源を切ってください。電子機器や医療用電気機器に影響を与える場合があります。病院など電波を発する機器の使用に制限がある場所では各機関の指示に従ってください。
- ペースメーカーなど医療機器の装用者が本製品を使用する際は医療機器製造会社や医師の指示に従ってください。

注意

- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には置かないでください。
- 充電の際に本体やACアダプタの温度が高くなる場合があります。

■ ACアダプタの取り扱いについて

警告

- 充電の際には専用のACアダプタを使用してください。
- 濡れた手でACアダプタのコードやコンセントに触れないでください。感電の原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所や取り扱いに注意してください。
- 風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。感電の原因となります。
- 長時間使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- コンセントにつながれた状態で、マイクロUSBソケットに手や指など体の一部に触れさせないでください。感電、傷害、故障の原因となります。
- ACアダプタをコンセントに差し込むときは金属類に触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。誤った場合、感電、ショート、火災の原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。誤った場合、火災、故障の原因となります。
- 電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本体、ACアダプタには触れないでください。落雷の際に感電の原因となります。
- 充電中はACアダプタを安定した場所に置いてください。またACアダプタを布などで覆ったり、包んだりしないでください。

注意

- ACアダプタをコンセントから抜く場合はコードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- ACアダプタのコードの上に重いものを載せないでください。感電、火災の原因となります。

■ その他の注意事項

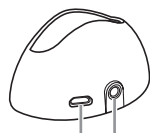
- お手入れの際は水や洗剤を使用しないでください。
- 専用の付属品を使用してください。
- 本製品の修理はソノヴァ・ジャパンまたはソノヴァ・ジャパンの指定するサービスセンターでのみ可能です。
- お客様による充電電池交換はできません。充電電池を取り外さないでください。
- 日本国内で購入した本製品が海外の各国で使用可能かどうかは、事前にその国の関係省庁にお問い合わせください。また、海外で購入した本製品を国内で使用すると電波法違反となる恐れがあるのでご注意ください。

■ 電波法認証情報

| | | | | | |
|--------------|--|---|---------------|---|------------|
| Roger Select |  <table data-bbox="524 646 770 751"><tr><td data-bbox="524 646 565 687">T</td><td data-bbox="565 646 770 687">D 18-0001 202</td></tr><tr><td data-bbox="524 687 565 751">R</td><td data-bbox="565 687 770 751">202-LSG002</td></tr></table> | T | D 18-0001 202 | R | 202-LSG002 |
| T | D 18-0001 202 | | | | |
| R | 202-LSG002 | | | | |

付属品

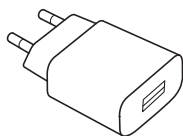
①



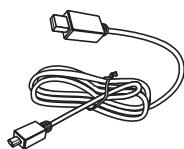
外部電源
入力

デジタル/
アナログ
音声入力

②



③



④



⑤



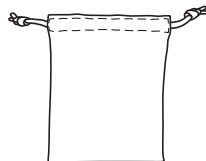
⑥



⑦



⑧



① ドッキングステーション

② ACアダプタ

③ USBケーブル

④ デジタル音声用ケーブル

⑤ アナログ音声用ケーブル

⑥ クリップ

⑦ ネックストラップ

⑧ ポーチ

⑨ 取扱説明書（本書）

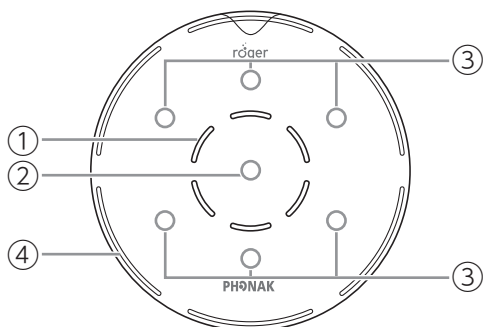
⑩ 保証書

各部の名称

本体

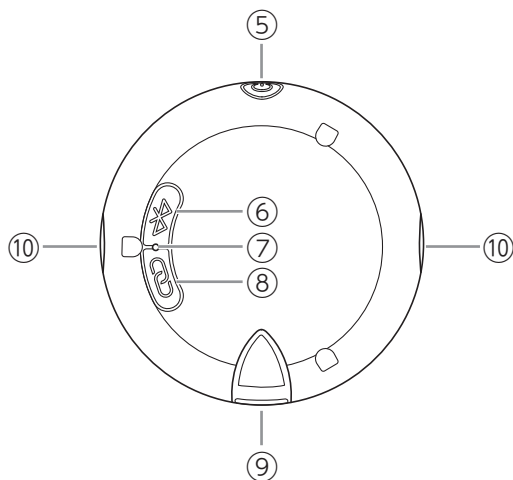
表面

- ① マイクロホン／センター
インジケータ
- ② センターキー
- ③ セレクトキー
- ④ マイクロホンモード
インジケータ



裏面

- ⑤ 電源ボタン (バッテリー
ステータスインジケータ)
- ⑥ Bluetoothボタン
- ⑦ 接続／ペアリングインジケータ
- ⑧ 接続ボタン
- ⑨ マイクロUSB用ソケット
- ⑩ ネックストラップ／クリップ用
スロット



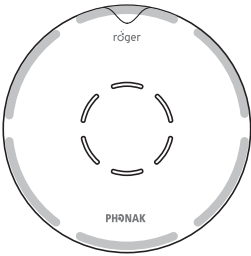
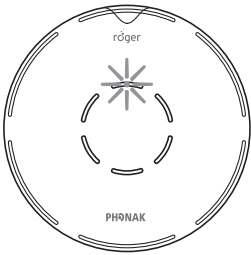
インジケータ

本製品には、電源ボタン、本体表面、本体裏面にインジケータが付いています。

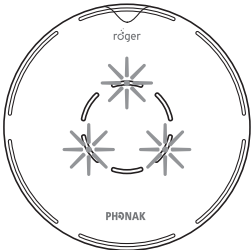
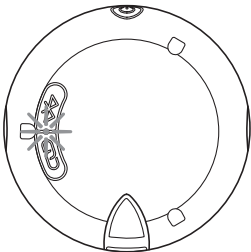
■ 電池の状態

| ライトの場所 | 色 | 状態 | 本体の状態 |
|--|------|------|-----------|
|  <p>電源ボタン (バッテリーステータス インジケータ)</p> | 緑 | 速い点滅 | 充電中 |
| | | 点灯 | フル充電 |
| | | 遅い点滅 | 電源オン |
| | オレンジ | 点滅 | 電池残量50% |
| | 赤 | 点滅 | 電池残量少、要充電 |

■ マイクロホンの状態

| ライトの場所 | 色 | 状態 | 本体の状態 |
|--|---|----------------------------|---|
|  <p>マイクロホンモード インジケータ</p> | 緑 | 6個のセレクト キーが全て数秒 間点灯 | 全ての方向（全方位） に対してマイクロホン が作動 |
| | | 1～5個のセレクト トキーが数秒間 点灯 | 選択された方向に対し てマイクロホンが作動 |
|  <p>センターインジケータ</p> | 赤 | 点灯 | ミュート中 |
| | | 点滅 | ミュート解除不可、他 のロジャー セレクトが 同一ネットワークで作 動中 |

Bluetooth／ロジャー送受信機との接続

| ライトの場所 | 色 | 状態 | 本体の状態 |
|---|------|---------|--------------------------------|
|  <p>センターインジケータ</p> | 青 | 数秒間遅い点滅 | Bluetooth準備完了 |
| | | 二重点滅 | 電話の着信 |
| | | 点灯 | 通話中 |
| | | 速い点滅 | ネットワークの問題 (接続ボタンを押してください) |
|  <p>接続／ペアリングインジケータ</p> | 青 | 点滅 | 接続またはペアリング 待機中 |
| | 緑 | 点灯 | 接続またはペアリング 成功 |
| | 赤 | 二重点滅 | 接続のタイムアウト (装置間の距離を近づけてください) |
| | | 長い三重点滅 | 装置の互換性なし |
| オレンジ | 1回点滅 | 接続の解除 | |

基本スペック

■ 使用可能時間

本製品の使用可能時間は約8時間です。

■ 充電電池の寿命

充電電池は消耗品です。充放電を繰り返すごとに使用可能時間が徐々に短くなります。充電を行っても使用可能時間が短くなった場合は、充電電池を交換してください（有償）。

■ 使用可能距離

従来のロジャー受信機を使用する場合：

約20m

（接続操作範囲：10cm）

ロジャーダイレクト受信機を使用する場合：

最大50m

MEMO

- 強い電波を出す電気製品が近くにある場合や金属に囲まれた部屋などでは使用可能距離が短くなる場合があります。
- 屋外や大きな部屋で使用する際、装着している人の体が電波を遮り、本製品からの音が途切れることがあります。
このような場合は、本製品が体の正面に来るように装着してください。

■ ロジャーの互換性について

本製品は、以下のロジャー機器と互換性があります。

- ロジャー セレクト iN
- ロジャー テーブルマイク II
- ロジャー ペン
- ロジャー ペン iN
- ロジャー クリップオン マイク
- ロジャー 受信機各種
- ロジャー フォーカス

MEMO

ロジャーダイレクト受信機を使用する場合：

- 本製品とロジャーダイレクト受信機を使用する場合、本製品のBluetooth機能を無効にしてください。Bluetooth機能が有効になっていると、補聴器からビープ音が鳴り続けます。

使用する前の準備

補聴器／人工内耳の準備

■ ロジャー機器を使える設定にする

補聴器（プログラムを設定できる場合）：

ユニバーサルタイプ受信機／一体型受信機を一緒に使うときは、事前にロジャーを使えるプログラムを設定しておきます。

Tコイル利用タイプ受信機と一緒に使用するときは、事前にTコイルを使えるプログラムを設定しておきます。

ロジャーダイレクトを受信機として使うときは、事前にマーベル補聴器に受信機機能をインストールしておきます。

補聴器（プログラムを設定できない場合）：

設定は不要です。

人工内耳：

必要に応じて、人工内耳プロセッサを各社人工内耳メーカーの推奨設定にします。設定はマッピングを行う病院にて行います。

■ 必要なアダプタを接続する

補聴器（ユニバーサルタイプ受信機を一緒に使う場合）：

各社補聴器専用のオーディオシューを補聴器に接続します。

必要なオーディオシューの型式やオーディオシューの補聴器への接続に関しては、補聴器をお買い求めの販売店にてご確認ください。

人工内耳：

各社人工内耳プロセッサ専用のアダプタ（およびケーブル）を人工内耳プロセッサに接続します。

必要なアダプタ（およびケーブル）の型式に関しては、マッピングを行う病院または各人工内耳メーカーにお問い合わせください。

ロジャー受信機の準備

補聴器（ユニバーサルタイプ受信機を一緒に使う場合）：

受信機を補聴器に取り付けたオーディオシューに接続します。

ユーロピン（3ピン）は、太さが異なり、差し込む穴が決まっていますのでご注意ください。

補聴器（一体型受信機の場合）：

補聴器をお買い求めになった販売店にて、補聴器の純正の電池ホルダーと受信機を付け替えてもらってください。

人工内耳（ユニバーサルタイプ受信機を一緒に使う場合）：

受信機を人工内耳プロセッサに取り付けたアダプタに接続します。

人工内耳（一体型受信機を一緒に使う場合）：

受信機を人工内耳プロセッサに取り付けます。

補聴器／人工内耳（Tコイル利用タイプ受信機と一緒に使用する場合）：

Tコイル利用タイプ受信機は充電式です。ご使用になる前に充電を行ってください。

充電の方法や受信機の使い方に関しては、受信機の取扱説明書を参照ください。

本製品を充電する

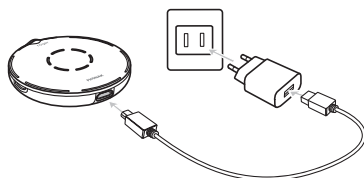
本製品は、以下の2つの方法で充電できます。

MEMO

- 充電時間は約2時間です。
- 充電するときは、本製品の電源をオフにしてください。
- 充電中は、電源ボタンの周囲のバッテリーステータスインジケータが緑色に点滅します。充電が完了すると、緑色の点灯に変わります。

■ ACアダプタを使う

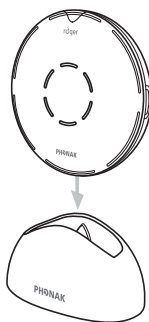
- 1 USBケーブルの小さい方の端子を本製品のマイクロUSB用ソケットに、大きい方の端子をACアダプタに接続します。



- 2 ACアダプタをコンセントに接続します。

■ ドッキングステーションを使う

- 1 本製品をドッキングステーションに差し入れます。

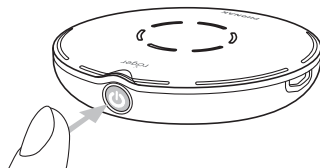


MEMO

- ドッキングステーションのセットアップについては、「ドッキングステーションをセットアップする」(24ページ)を参照してください。

電源を入れる

- 1 電源ボタンを1秒以上長押しします。
マイクロホンモードインジケータ全体が数秒間点灯します。



MEMO

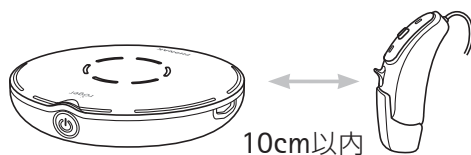
- 電源を入れると、電源ボタンの周囲のバッテリーステータスインジケータがゆっくりと点滅します。
 - 緑色の点滅：電池残量十分
 - オレンジ色の点滅：電池残量半分程度
 - 赤色の点滅：要充電

電源を切る

- 1 電源ボタンを1秒以上長押しします。
マイクロホンモードインジケータ全体が1回点滅します。

機器を接続する

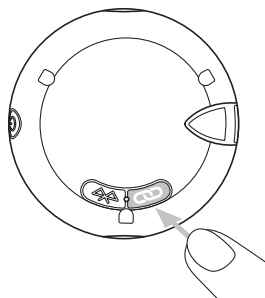
一緒に使用したいロジャー受信機やロジャー テーブルマイクⅡなどのロジャー送信機を本製品に接続します。



MEMO

- ロジャー受信機を事前に補聴器販売店でご購入ください。ロジャー受信機には様々な種類があります。詳しくはお買い求めの補聴器販売店にお尋ねください。
- 補聴器販売店がすでに本製品とロジャー受信機を接続している場合があります。その場合は、ご自身で接続する必要はありません。

- 1 本製品とロジャー機器の電源を入れます。
- 2 本製品とロジャー機器の距離が10cm以内になるように近づけます。
- 3 接続ボタンを押します。
接続が完了すると、接続／ペアリングインジケータが2秒間緑色に点灯します。



MEMO

- 本製品を他のロジャー送信機と一緒に使うときは、話し手が自分の胸に本製品を装着する必要があります。装着のしかたについては「離れた話し手の声を聞き取る」(20ページ)を参照してください。
- 本製品を他のロジャー送信機と接続しているときに本製品をテーブルの上に置くと、自動的にミュートになります。ミュートを解除すると、本製品に接続している他のロジャー送信機がミュートになります。本製品をミュートにするか、胸に装着すると、他のロジャー送信機が再び作動します。ミュートについては「ミュート(消音)」(30ページ)を参照してください。

機器の接続を解除する

ロジャー受信機や他のロジャー機器との接続を解除します。

- 1 接続ボタンを7秒間長押しします。
本製品と接続している全ての機器との接続が解除されると、接続/ペアリングインジケータがオレンジ色に1回点滅します。

基本的な使い方

本製品は、さまざまな用途に使用できるワイヤレスマイクロホンです。周囲の状況を検出して、会話が聞き取りやすくなるようにマイクロホンの設定を自動で調整します。

MEMO

- 本製品を使用するときは、できるだけ話し手に近づけて使用してください。

テーブルで複数の人と会話するときに使用する

打ち合わせのときなど、複数の方の話を聞けるように、本製品をテーブルの中央に置きます。



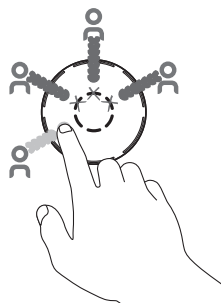
MEMO

- テーブルがない場所で使うときは、手のひらの上に乗せて使用してください。テーブルに置いたときと同じように使えます。

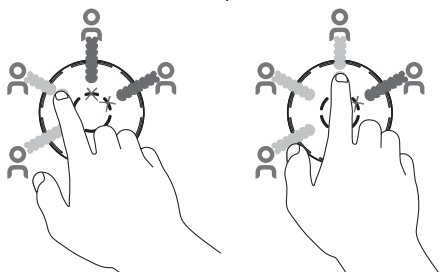
■ 特定の人声を聞き取りやすくする

話し手が話すと全方位マイクロホンが起動し、話し手の方にマイクロホンの方向を切り替えて周囲の雑音を低減します。特定の人声を聞きたいときは、手動で切り替えることができます。

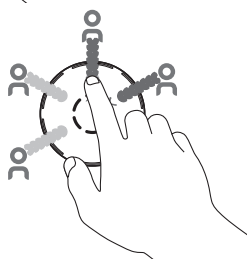
- 1 声を聞きたい人がいる方向のセレクトキーをタップします。



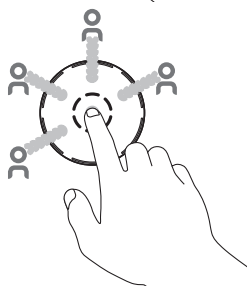
- 2 別のセレクトキーをタップして、他の人の声も加えて集音できます。



- 3 作動中のセレクトキーをもう一度タップすると、その方向の集音が停止されます。

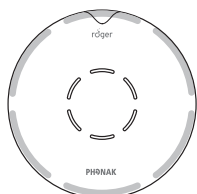


- 4 全員の声を知りたいときは、センターキーをタップします。

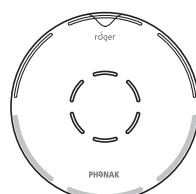


■ マイクロホンモードインジケータ

セレクトキーをタップしたり本製品を移動するたびに、マイクロホンモードインジケータが光って作動中のセレクトキーを表示します。インジケータはバッテリー節約のため数秒で消灯します。



6方向全てが作動

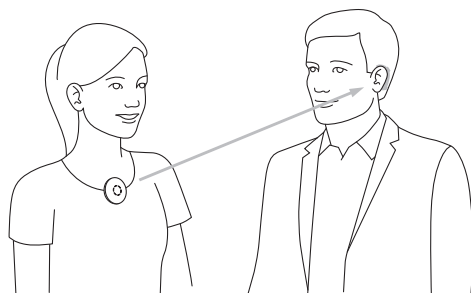


選択された方向のみが作動

離れた話し手の声を聞き取る

話し手が離れた場所にいる場合、または周囲が非常にうるさい環境でも話し手の声を聞くことができます。

話し手の声を聞こえるようにするには、話し手に本製品を装着してもらう必要があります。本製品を装着するときは、クリップやネックストラップを取り付けます。

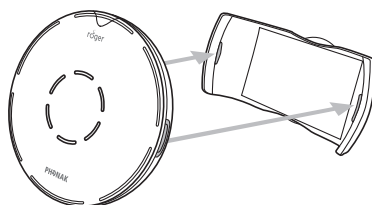


MEMO

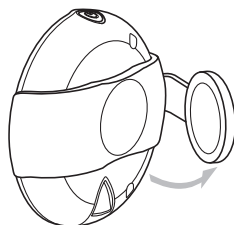
- 本製品を装着すると、首かけモードが自動的に作動します。

■ クリップを取り付ける

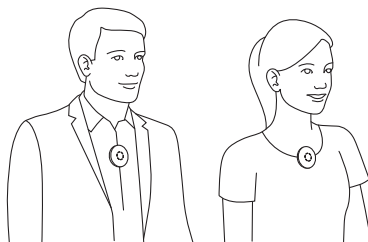
- 1 クリップを本体の側面にある細い溝にカチッと音が鳴るまで差し込みます。



- 2 クリップを開きます。



- 3 クリップを話し手の服に取り付けます。

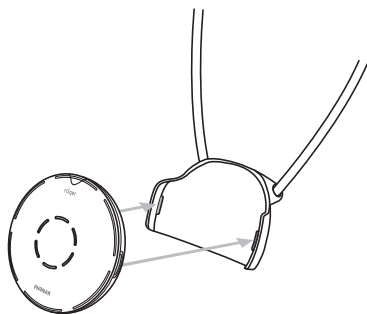


MEMO

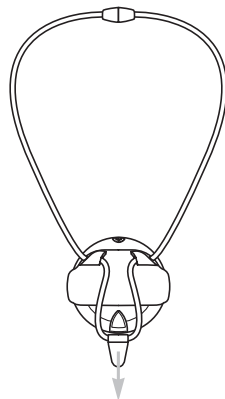
- 話し手の口元から本体までの適切な距離は約20cmです。

■ ネックストラップを取り付ける

- 1 ネックストラップを本体の側面にある細い溝にカチッと音が鳴るまで差し込みます。



- 2 ネックストラップを話し手の首にかけ、長さを調節します。

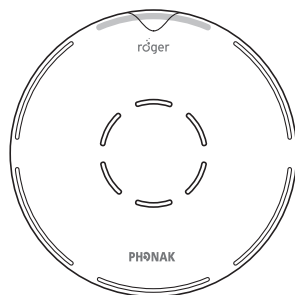


MEMO

- 話し手の口元から本体までの適切な距離は約20cmです。

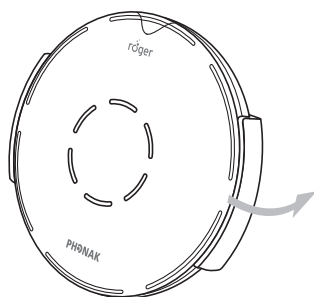
■ マイクロホンモードインジケータ

話し手が本製品を装着すると、1番上のマイクロホンモードインジケータが点灯します。



■ クリップ／ネックストラップを取り外す

- 1 クリップまたはネックストラップの片側を押し、本体から取り外します。

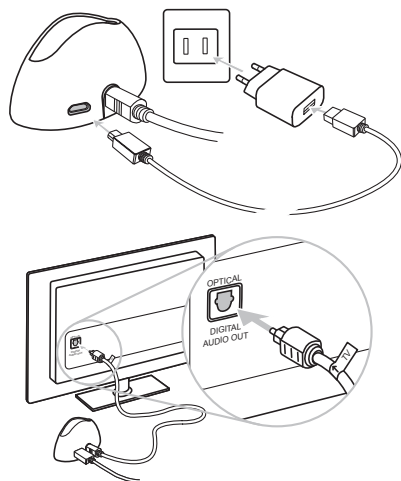


便利な機能

テレビまたはその他のオーディオ装置の音を聞く

■ ドッキングステーションをセットアップする

- 1 ドッキングステーションのソケットにUSBケーブルの小さい方の端子を差し込みます。
- 2 USBケーブルの大きい方の端子をACアダプタに接続します。
- 3 ACアダプタをコンセントに接続します。
- 4 デジタル音声用ケーブルが接続されていない方の端子を、テレビまたはオーディオ装置の光デジタル音声出力端子口に接続します。



⚠ 注意

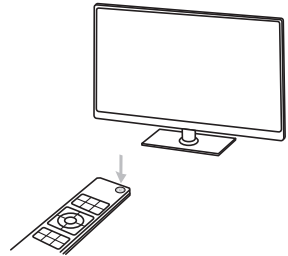
- デジタル音声用ケーブルをテレビまたはオーディオ装置に接続するときは、ケーブルから出る光を直接見ないでください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

MEMO

- テレビまたはオーディオ装置に光デジタル音声出力端子口がない場合は、テレビまたはオーディオ装置のヘッドホン用出力端子口とドッキングステーションのデジタル／アナログ音声入力端子口に、ミニピンプラグ・オーディオ・ケーブル（別売）を差し込んで使用してください。

■ ドッキングステーションを使って音を聞く

- 1** 本製品をドッキングステーションに差し込みます。(24ページ)
ドッキングステーションに接続すると、本製品の電源が自動的に切れます。
- 2** テレビまたはオーディオ装置の電源を入れます。
本製品が自動的に音声信号を送信し、音声聞こえるようになります。
- 3** 音声信号の送信を終了するには、テレビまたはオーディオ装置の電源を切るか、本製品をドッキングステーションから外します。

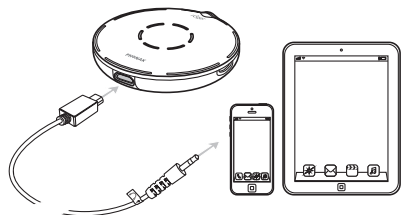


MEMO

- 本製品がドッキングステーションに差し込まれていて音声を送信しているときは、マイクロホンはミュート状態になり、センターインジケータが赤色に点灯します。
- センターキーを押すとマイクロホンのミュートを解除でき、テレビまたはオーディオ装置の音声とマイクロホンの音声を同時に聞くことができます。

ポータブルオーディオ装置の音を聞く

- 1** 音声用ケーブルの四角い方の端子を本製品に差し込みます。
- 2** 音声用ケーブルの丸い方の端子をポータブルオーディオ装置のヘッドフォン用出力端子口に差し込みます。



- 3 ポータブルオーディオ装置で音楽を再生します。
本製品が自動的に音声信号を送信し、音声聞こえるようになります。
- 4 音声信号の送信を終了するには、音声用ケーブルを外すか、本製品の電源を切ります。

MEMO

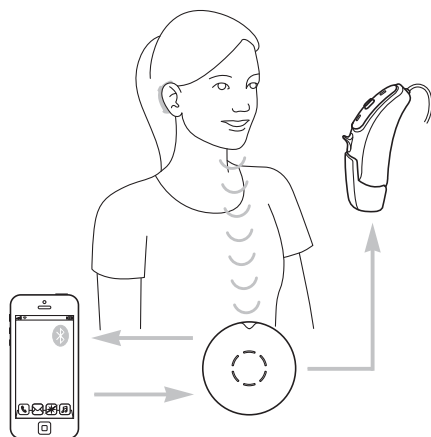
- 音声用ケーブルを本製品に接続すると自動的にミュート状態になり、センターインジケータが赤色に点灯します。
- センターキーを押すとマイクロホンのミュートを解除でき、ポータブルオーディオ装置の音声とマイクロホンの音声を同時に聞くことができます。

無線機能を使って電話をかける

本製品を携帯電話、スマートフォン、固定電話、タブレットおよびコンピュータなどのBluetooth®（以下、「Bluetooth」と表記します）対応製品と接続すれば、電話をかけたり受けたりすることができます。

MEMO

- Bluetoothの機能を使って通話するには、使用したい通信機器がHSPプロファイルまたはHFPプロファイルに対応している必要があります。

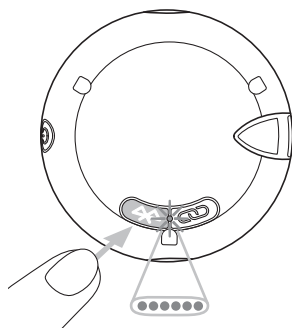


Bluetooth®およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有し、Sonova AGはライセンスに基づいてこれらの商標を使用しています。

■ 本製品と通信機器とのペアリング

Bluetoothのワイヤレス機能を使用する場合、事前にペアリングを実施する必要があります。

- 1** 本製品と通信機器の電源を入れ、通信機器を本製品の近くに置きます。
- 2** 通信機器のBluetooth機能を有効にして、通信機器の接続設定画面で周辺のBluetooth機器を検索します。
- 3** 本製品のBluetoothボタンを短押しします。接続／ペアリングインジケータが青色に点滅します。



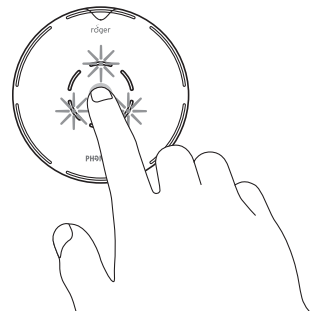
- 4** 通信機器の画面に、検出されたBluetooth機器が表示されます。表示されたリストから本製品を選択します。ペアリングが完了すると、接続／ペアリングインジケータの点滅が消えます。
- 5** 別のBluetooth機器を追加するときは、手順1～4を繰り返します。

MEMO

- 通信機器がパスコードの入力を求めてくることがあります。その場合は、「0000（ゼロを4つ）」を入力してください。
- 通信機器がどのBluetooth機能を有効にするのかを聞いてくることがあります。その場合は、ヘッドフォンオーディオ装置およびマイクロホンを両方選択してください。
- 通信機器の画面でオーディオ選択が必要な場合は、「Roger Select」を選択してください。

■ 電話を受ける

電話がかかってくると、本製品のBluetoothインジケータが青色に点滅します。電話を受けるにはセンターキーを押します。

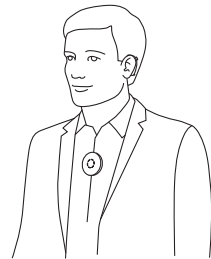


■ 電話をかける

通信機器で相手の電話番号または連絡先を入力し、電話をかけます。ダイヤル音が補聴器を通して聞こえます。

■ 本製品のマイクロホンを使って話す

本製品を自分の胸に装着します。こうすることで相手の声が聞き取りやすくなり、自分の声が相手に届きやすくなります。本製品の装着のしかたについては、「離れた話し手の声を聞き取る」(20ページ)を参照してください。



MEMO

- 本製品をテーブルの上に置いて使用することもできます。(18ページ)

■ 電話を切る

センターキーを長押しするか、通信機器で通話を終了します。

■ 着信を拒否する

着信時にセンターキーを約2秒間長押しすると、インジケータの青色の点滅が消え、着信を拒否できます。

■ 通話をミュートする

自分の音声をミュートにしたい場合は、センターキーをタップしてください。センターインジケータが赤色に点灯します。

その他のBluetoothの操作

■ Bluetoothスタンバイモードにする

通信機器と一度ペアリングを行うと、自動的にBluetooth機能が有効になります。電源ボタンを押すと、Bluetoothスタンバイモードになります。Bluetoothスタンバイモードではマイクロホンがオフになりますが、着信を受けることができます。

■ Bluetooth機能を無効にする

Bluetooth機能を長時間使わない場合は、Bluetoothボタンを2秒以上長押しします。接続／ペアリングインジケータの点灯が消え、Bluetooth機能を無効にできます。

Bluetooth機能を再度有効にする場合は、Bluetoothボタンを2秒以上長押しします。接続／ペアリングインジケータが青色に1回点滅します。

■ ペアリングされたBluetooth機器をリストから消去する

本製品とペアリングされたBluetooth機器との接続をすべて解除する場合は、接続ボタンとBluetoothボタンを同時に7秒以上長押しします。接続／ペアリングインジケータがオレンジ色に1回点滅して、ペアリングされたBluetooth機器がリストから消去されます。

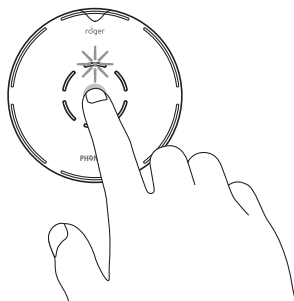
MEMO

- Bluetoothスタンバイモードでは、本製品の電池は消費し続けます。通話する予定がないときは、本製品の電源ボタンを長押しして電源を完全に切るか、Bluetoothボタンを長押ししてBluetooth機能を無効にすることをお勧めします。また、本製品を充電するときは、Bluetoothスタンバイモードを解除してください。

その他の機能

ミュート（消音）

本製品を使用中、聞き手に音声を聞かせたくないときはミュートにしてください。ミュートにすると本製品のマイクロホンを一時的に無効にすることができます。



ミュート：

センターキーを1、2回タップします。
センターインジケータが赤く点灯します。

ミュート解除：

センターキーまたは6個のセレクトキーのいずれかをタップします。
センターインジケータの点灯が消えます。

MEMO

- 話し手が本製品を装着しているときは、ミュート機能を利用できません。

本体をリセットする

本体が操作に反応しない場合は、電源ボタンとBluetoothボタンを同時に10秒以上長押しするとリセットできます。

トラブルシューティング

| | |
|----|---|
| 状況 | 電源が入らない。 |
| 原因 | 充電機が切れている可能性があります。充電してください。ACアダプタを使用した場合、フル充電には約2時間かかります。 |
| 状況 | 話し声がはっきりと聞こえない。 |
| 原因 | <ul style="list-style-type: none">● 本製品と話し手との距離が遠すぎる可能性があります。本製品を話し手の口元に近づけてください。● 間違った方向が選択されている可能性があります。話し手の方向のセレクトキーをタップしてください。● マイクロホンの開口部がふさがれている可能性があります。マイクロホンが指やゴミなどでふさがっていないかを確認してください。 |
| 状況 | 電源がオンになっているのに音声がか聞こえない。 |
| 原因 | <ul style="list-style-type: none">● ミュートになっている可能性があります。センターインジケータが赤く点灯している場合は、センターキーをタップしてミュートを解除してください。● 補聴器のプログラムが正しくない可能性があります。補聴器に正しいプログラム (Roger/FM/DAI/EXT) が設定されているかを確認してください。● 間違った方向が選択されている可能性があります。話し手の方向のセレクトキーをタップしてください。● 本製品とロジャー受信機が接続されていない可能性があります。受信機と本製品との距離を10cm以内に近づけ、本体の接続ボタンを押して接続してください。● 接続しているロジャー受信機が作動していない可能性があります。受信機が補聴器に正しく取り付けられ、電源が入っていることを確認してください。 |
| 状況 | 音声信号が受信できない。 |
| 原因 | <ul style="list-style-type: none">● 本製品と話し手との距離が遠すぎる可能性があります。本製品を話し手の口元に近づけてください。● 本製品と話し手との間に障害物がある可能性があります。本製品を話し手から見える位置に置くか、本製品を話し手の口元に近づけてください。 |

| | |
|----|--|
| 状況 | 雑音がひどい。 |
| 原因 | 本体が雑音を拾っています。周囲の雑音を低減するため、話し手の方向のセレクトキーをタップしてください。 |
| 状況 | マイクロホンから自分の声を聞こえないようにしたい。 |
| 原因 | 本製品使用者の声を拾っています。自分の声が拾われるのを最小限に抑えるため、話し手の方向のセレクトキーをタップしてください。 |
| 状況 | 外部音響機器から音が聞こえない。 |
| 原因 | <ul style="list-style-type: none"> ● 外部音響機器の音量が小さすぎる可能性があります。音量を調節してください。 ● 外部音響機器にミュートが設定されている可能性があります。ミュートを解除してください。 ● 本製品の電源がオフになっている可能性があります。電源をオンにしてください。 ● 音声用ケーブルが正しく差し込まれていない可能性があります。音声用ケーブルの差し込みかたを確認してください。 |
| 状況 | 作動しなくなり、どのボタンを押しても反応しない。 |
| 原因 | ソフトウェアに問題があります。電源ボタンとBluetoothボタンを10秒以上同時に長押ししてください。自動的に再起動されます。 |
| 状況 | 本製品と通信機器のペアリングができない。 |
| 原因 | <ul style="list-style-type: none"> ● ペアリングにはコード入力が必要です。通信機器側で、本製品のペアリングコード「0000（ゼロが4個）」を入力してください。 ● 通信機器が本製品のBluetoothのバージョンに対応していない可能性があります。通信機器の販売店にご確認ください。 |
| 状況 | Bluetooth機能を使って通話しているときに、音声信号を受信できない。 |
| 原因 | 本製品と通信機器との距離が遠すぎる可能性があります。通信機器を本製品に近づけてください。 |

| | |
|----|---|
| 状況 | 電話がかかってきても、本製品で電話を受けることができない。 |
| 原因 | <ul style="list-style-type: none"> ● 通信機器のBluetooth機能が無効になっている可能性があります。通信機器の取扱説明書を参照し、Bluetooth機能を有効にしてください。 ● 本製品のBluetooth機能が無効になっている可能性があります。Bluetoothボタンを2秒以上押して、Bluetooth機能を有効にしてください。 ● 本製品と通信機器との距離が遠すぎる可能性があります。通信機器を本製品に近づけてください。 |
| 状況 | 自分の声は通話相手に聞こえているのに、相手の声が自分に聞こえない。 |
| 原因 | 通話が本体に送信されていない可能性があります。通信機器のBluetoothアイコンまたはヘッドフォンアイコンを選択してください。 |
| 状況 | 通話相手が自分の声を聞き取りづらい。 |
| 原因 | <ul style="list-style-type: none"> ● 本製品と話し手との距離が遠すぎる可能性があります。本製品を話し手の口元に近づけてください。 ● ミュートになっている可能性があります。センターインジケータが赤く点灯している場合は、センターキーをタップしてミュートを解除してください。 |

保証期間とアフターサービス

- 本製品（本体のみ）の無償保証期間は、お買い上げ日より2年間です。
- 不具合がある場合は修理します。
- 無償保証期間が過ぎて不具合がある場合、有償修理となります。
- 保証期間内であっても、お客様による誤った使用、過失、改造による故障の場合、有償修理となる場合があります。
- 製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」などが記載されていることを確認し、大切に保管してください。
- 修理を依頼する際、お求めの販売店までご連絡ください。修理の際には保証書が必要です。
- 本製品の充電電池交換は有償となります。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 日本国内における保証期間

日本国内における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より2年間です。無償修理の際、保証書が必要になりますが、製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。

■ 日本国外における保証期間（国際保証）

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、アクセサリーパーツ、電池を除く機器本体となります。保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。当規定は上記の修理保証規定により交換・修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

■ 保証適用除外

お客様または第三者の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理に関しては、保証期間内であっても保証適用外となります。修理は、ソノヴァ・ジャパンが指定するサービスセンターでのみ行ってください。また、専門家による調整やアフターケア等のサービスに対しても、保証対象ではありません。

■ Local Warranty

Please ask the hearing care professional, where you purchased your hearing aid, about the terms of the local warranty.

■ International Warranty

Phonak offers you a one year limited international warranty valid starting from the date of purchase. This limited warranty covers manufacturing and material defects in the hearing aid itself, but not accessories such as batteries, tubes, ear modules, external receivers. The warranty only comes into force if a proof of purchase is shown. The international warranty does not affect any legal rights that you might have under applicable national and legislation governing sale of consumer goods.

■ Warranty Limitation

This warranty does not cover damage from improper handling or care, exposure to chemicals or undue stress. Damage caused by third parties or non-authorized service centers renders the warranty null and void. This warranty does not include any services performed by a hearing care professional in their office.

販売店名

製造販売業
ソノヴァ・ジャパン株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル

TEL 0120-06-4079 (お客様相談窓口)

FAX 0120-23-4080

www.phonak.com/jp/ja

sonova
HEAR THE WORLD



CE
0682

